

【第5学年国語】

理由を記述する「組み立て表」の活用で、説得力のある意見文を書く

1 指導計画

- 1時間目 資料を読み取り、双方の意見によさと問題点があることをとらえ、意見の述べ方をつかむ。
- 2時間目 資料を基にして、説得力のある意見文の書き方をとらえ、「組み立て表」を作る。
- 3時間目 立場とその理由を明確にした意見文を書き、交流する。

2 指導のポイント

この問題は、長なわ大会の実施に関する各学年のアンケート結果や、スポーツ委員会における話し合いの様子を基にして、クラス対抗で行うか、たてわり班で行うか、どちらかの立場に立って説得力のある意見文を書くものである。ここでは、資料を関係付けて読み取る力や、意見の理由を明確に記述する力、問題点を理解した上で解決策を提案する力、段落を構成する力などが必要となる。そこで、これらの力を付けるために、次の三つの段階を踏みながら指導に当たる。

1 時間目

まず、資料を読み取る。長なわ大会のねらいや方法を確認後、アンケート結果の資料から双方の意見のよさと問題点をつかむ。次に、話し合いの様子から、発言者の立場や考えをはっきりと表している文や言葉に着目して、発言者の立場とその理由をとらえる。最後に、意見の述べ方をつかむ。

2 時間目

双方の問題点はどのような方法で解決できるか考える。自分の体験や予想、問題点の解決策を述べることで説得力を高めることにつながることを確認した上で、「組み立て表」を作成する。「組み立て表」では、自分の立場を決めた後、「自分の体験や予想」「問題点とその解決策」の2つの観点から立場を裏付ける理由を書き出す。

3 時間目

「組み立て表」を用いて意見文を書く。書き終えたら仲間と読み合い、文の型や説得力を生む表現に着目して相互評価し、説得力のある意見文の書き方を確認する。

3 各時間の指導

1 時間目：資料を読み取り、双方によさと問題点とがあることを確認し、意見の述べ方を学ぶ

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p>長なわ大会のねらいと方法を確認する</p> <p><資料1より></p> <p>T 長なわ大会のねらいと方法は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ねらいは、みんなが団結して、長なわとびがじょうずになることです。・ 1・2年生は10人で一緒にとんで、3～6年生は8の字とびをします。 <p>アンケート結果の資料を読み取る</p> <p>T アンケート結果の数値からどんなことが分かるでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 表の見方を確認する。実態に合わせて、項目や数値の読み方を指導する。

<資料2 アンケート結果①より>

- ・ 3～5年生は、たてわり班対抗に賛成している人が多いです。
- ・ 全体的にみると、クラス対抗でもたてわり班対抗でも大差はないです。

T それぞれ、賛成の理由と問題点を確認しましょう。

<資料3 アンケート結果②より>

- ・ たてわり班対抗は、学年に関係なく団結力が高まりそうだけど、練習時間が取りにくいのが問題です。
- ・ クラス対抗は、クラスの団結力は高まるけど、全校としてのまとまりができにくいのが問題です。

話し合いの様子を資料を基に、意見の述べ方をつかむ

T 資料1～3を基にした話し合い資料から、話し合う人たちそれぞれの意見とその理由を読み取りましょう。

山本さん	大田さん	岩木さん	石田さん	岩木さん	司会者	田中さん	小林さん	司会者	川口さん	石田さん	司会者
わたしはたてわり班対抗に賛成です。今年からたてわり班でそうじをしています。低学年の子どもたちが、私たち高学年にいろいろ聞いてきて、休み時間に会うとあいさつをしたり、いっしょに遊んだりするようになりました。今まで、そんなことはありませんでした。違う学年でも仲良くなれるというたてわり班のよいところが見られるようになっていきます。 (話し合いは続く)	わたしはたてわり班対抗に賛成です。クラス対抗の時、クラスのまとまりを感じる事ができたからです。空いている時間を見つけて、とべる人がとべない人に教えていました。	他のクラスと競うならば、十月に全校で行っているドッジボール大会があります。アンケート結果②にもありますが、たてわり班での活動はあまりないので、長なわ大会はたてわり班対抗がよいと思います。	わたしはたてわり班対抗に賛成です。アンケート結果①を見ると、6年生ではクラス対抗に賛成の人が多くからです。これは、昨年度の結果から次の年こそがんばろうという目標をもっていたのだと思います。今年で最後の長なわ大会なのに、変えてしまつたら6年生がかわいそうです。	わたしはたてわり班対抗に賛成です。アンケート結果①を見ると、たしかに6年生はクラス対抗の賛成が多いですが、そうじをしていて、たてわり班のよさを感じているのだと思います。	アンケート結果①をもとに、二つの意見が出ました。アンケート結果②からの意見はありませんか。	たてわり班対抗には、たてわり班はせいそつ時間に毎日会っているのだから、みんなが相談して練習時間を決めたらよいと思います。	たてわり班対抗に賛成です。アンケート結果②にもありますが、たてわり班よりもクラスの方が、練習時間がとりやすいと思うからです。高学年は休み時間に委員会の仕事などがあるので、全学年が集まって練習する時間がとりにくいと思います。	たてわり班対抗に賛成です。アンケート結果②にもありますが、たてわり班よりもクラスの方が、練習時間がとりやすいと思うからです。高学年は休み時間に委員会の仕事などがあるので、全学年が集まって練習する時間がとりにくいと思います。	わたしはたてわり班対抗に賛成です。アンケート結果①を見ると、6年生ではクラス対抗に賛成の人が多くからです。これは、昨年度の結果から次の年こそがんばろうという目標をもっていたのだと思います。今年で最後の長なわ大会なのに、変えてしまつたら6年生がかわいそうです。	わたしはたてわり班対抗に賛成です。アンケート結果①を見ると、たしかに6年生はクラス対抗の賛成が多いですが、そうじをしていて、たてわり班のよさを感じているのだと思います。	わたしはたてわり班対抗に賛成です。アンケート結果①を見ると、たしかに6年生はクラス対抗の賛成が多いですが、そうじをしていて、たてわり班のよさを感じているのだと思います。

- ・ 石田さんは、6年生のアンケート結果①を見て、クラス対抗に賛成しています。
- ・ 川口さんは、アンケート結果①から、たてわり班対抗に賛成しています。
- ・ 岩木さんは、学年が違っても仲良くなれるからと言って、たてわり班対抗に賛成しています。

T 発言の仕方でもよいと思うところを発表しましょう。

- ・ 自分の立場を言ってから理由を言っているところがよいと思います。
- ・ 理由が資料と結び付いているから、分かりやすいです。
- ・ 理由に自分の体験などを入れていると、説得力があります。
- ・ 田中さんは、たてわり班対抗の問題点の解決策を述べています。

- ・ 資料と資料とを関係付けて考えられるように指導する。

□双方とも賛成の理由と問題点があることが分かる。

- ・ 黒板に資料を拡大して提示し、児童と一緒に確認しながらサイドラインを引くことで、話し手の意見と理由を正しく読み取れるようにする。

- ・ それぞれの案には、よさもあるが、問題点もあることを確認する。

□立場の表明⇒理由の流れで発言していることが分かる。

2時間目：話し合い資料を基にして、説得力のある意見の書き方をとらえ、「組み立て表」を書く

主な学習活動と教師の働き掛け

・留意点 □評価

T 問題点はどのような方法で解決できるか、話し合しましょう。

・資料を参考にしながら、改善策を考えさせる。

資料3 アンケート結果②

クラス対抗に賛成の理由

- クラスの団結力が高まるから。
- 昨年度の記録をこえたいから。
- 高学年のじょうずなとび方が見たいから。

たてわり班対抗に賛成の理由

- 学年に関係なく、団結力が高まるから。
- 下の学年にとび方を教えられるから。
- 高学年としての自覚が高まるから。

クラス対抗の問題点

- 10月のドッジボール大会もクラス対抗なので、クラス対抗ばかりになってしまう。
- 低学年と中・高学年が分かれてやっているの、全校でのまとまりがない。

たてわり班対抗の問題点

- 練習時間がとりにくい。
- 低学年に8の字とびはむずかしい。

<クラス対抗の問題点の解決策>

<たてわり班対抗の問題点の解決策>

- ・ クラス対抗ばかりになる。⇒ドッジボール大会をたてわり班対抗にしてもよい。
- ・ 全校のまとまりがない⇒せいそうの時間にあいさつをしたり、低学年の世話をしたりすることを進んで行えばよい。

- ・ 練習時間がとりにくい⇒そうじの時間に相談して練習時間を決めればよい。
- ・ 低学年に8の字とびはむずかしい⇒長なわ大会までに練習時間をとって、低学年に8の字とびを教えればよい。

提示された構成を基に、「組み立て表」を作成する。

T 「始め—中—終わり」の三部構成の文章を書きます。「中」の部分にどのように理由を書くと説得力が増すかを考えて、組み立て表を書きましょう。

・考える時間、書く時間を保障する。

<条件>

- ① 「始め」に、自分が賛成する案について書く。
- ② 「中」の一つ目に、自分が選んだ案に賛成する理由を書くこと。理由には、自分自身の体験や、賛成する案を実行したらどうなるかの予想などを加えて書く。
- ③ 「中」の二つ目に、自分が賛成する案の問題点と、それについての解決策や自分の考えを書く。
- ④ 「終わり」には、賛成した案を選ぶとどんなことが達成されると思うか、ねらいとつなげて書く。

・前時の学習をふり返り、説得力のある意見の書き方（体験や予想を入れる、論じ返しをする）を確認する。

終わり	中	始め
④ 「始め」と「中」をまとめて 再度の立場の表明 このように、	③ 理由 ② 理由 ・自分の体験や予想	① 立場の表明

【組み立て表】

・話し合い資料に出てきた理由も参考にさせ、関係付けて構成してもよいこととする。

□意見や理由の述べ方をとらえることができたか。

3時間目：立場とその理由を明確にした意見文を書き、交流する

主な学習活動と教師の働き掛け	・留意点 □評価
<p>「組み立て表」を用いて意見文を書く。</p> <p>T 「組み立て表」を使って、説得力のある意見文を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「組み立て表」に文章を肉付けしていくといいです。 つなぎ言葉をつかって段落をつなげていくといいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 340字以上書くこととする。 書くことが苦手な児童には、各段落の書き出しを示す。
<p>互いに意見文を読み合っ、感想を交流する。</p>	
<p>T 友達同士で文章を読み合い、交流しましょう。</p>	
<p>わたしは、長なわ大会のねらいを達成するために、クラス対抗案に賛成します。</p> <p>理由は、クラス対抗でやるとクラスの団結力が高まると思うからです。去年の長なわ大会では、とべる人がとべない人に、いっしょうけんめいとび方を教えていました。とべるようになった人は、とてもうれしそうでした。その結果、記録がどんだんのびて、学年で一位をとることができました。力を合わせれば、よい結果が出ると感じました。</p> <p>たしかにクラス対抗にすると、全校でのまとまりがないという問題点があります。しかし、たてわり班とはせいそう活動で毎日会っているの、せいそう時間にあいさつをしたり、低学年の世話をしたりすることを進んで行えばよいと思います。</p> <p>このように、クラス対抗案を実行すれば、クラスのみなが助け合い、団結力が強まるだけでなく、長なわとびもじょうずになると思います。</p>	
<p>②①</p> <p>ぼくは、長なわ大会のねらいを達成するために、たてわり班対抗案に賛成します。</p> <p>理由は、たてわり班対抗でやると学年に係なくなかよくなれると思うからです。ぼくの学校ではたてわり班でせいそうをしています。すが、どの学年もたてわり班のみんなの名前を覚え、ろうかななどで会うとあいさつをするようになりました。たてわり班で活動することで全校のみなが知り合い、なかよくなれると思います。</p> <p>たしかに、たてわり班には練習時間がとりにくいという問題点があります。しかし、委員会では何日の昼休みというように決めてしま、その日は他に何の活動も入れないというようにしたら、かえって練習時間がきちんととれると思います。</p> <p>このように、たてわり班対抗案を実行すれば、学年が違ってもみんながなかよくなり、団結して長なわとびをすることができると思っています。</p>	<p>□ 立場と理由を明確にし、条件を満たした意見文を書くことができたか。</p> <p>□ 理由の書き方に着目して、互いの意見文を読み合うことができたか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 理由に問題点の解決方法が書いてあって、説得力があります。 ぼくの「終わり」は「始め」の繰り返しになっているから、「始め」と「中」のまとめを入れてもう一度自分の考えを書きます。 	